



























国指定重要無形民俗文化財
昭和60年1月20日指定

ショチヨガマ祭場地

旧暦八月最初の丙の日アラセツ行事を行う。
この日の早朝、潮が満ち始める頃「ショチヨガマ」祭りを
行い、夕方の潮が満ち始める頃浜岸の平瀬で「マンカイ」
祭りをを行う。
この二つの祭りを合わせて「平瀬マンカイ」と呼んでいる。
内容は、稲の豊作を願い、また豊作に対する感謝の念をこめた祭りである。
起源は琉球王支配下にあった時、ノ口を中心に始められたものとされている。







国指定重要無形民俗文化財

秋名のアラセツ行事

秋名平瀬マンカイ保存会

昭和六十年一月十二日指定

旧暦八月上旬、アラセツの

夕方潮の満ち始める頃、

神平瀬に女五人がのり、

めらへ平瀬に男女合わせて

七人がのって

マンカイ祭りを行う。

シヨチヨガマ祭りとは

この二つの祭りを合わせて

平瀬マンカイと呼んでいる。

内容は、稲の豊作を願う

また、豊作に対する

感謝の念をこめた祭りである。

紀元は、琉球王の

支配下にあった時、

ノロを中心と

始められたものと

されている。

































































西郷隆盛と得藤長のゆかり

西郷隆盛を菊池源吾と変名の上、大島に潜居を命ぜられ、龍郷村阿円崎に到着したのは安政六年（一八五九年）旧正月十一日であった。（数えて百四十年にあたる）

得藤長は、嘉波の出身、名瀬間切龍郷方殿切横目役・正義感の強く学者肌の役人であった。

藤長と西郷隆盛との親交が厚くなり、西郷は奄美での六ヶ年にわたる生活の中で、藤長との交流がつづき、藤長の偉大な人間性を多く感化し、吸収したものと感われる。大西郷が明治維新の大業を成し遂げたうえにはこの人々の影響もあったといわれる存である。

「龍郷町誌」「龍郷町史」より抜粋
一九九九年（平成十一年三月）（旧正月） 建立





























